



RIM INTELLIGENCE CO.

2019年1月25日

第16号[新春号]

CROSS VIEW

重油

【トピックス】

IMO規制～原油からの考察～
海外動向 (パキスタン)
内燃研・メニュー予想

【日本の動向】

調査船向け入札
アスファルト動向

【次回予告】

IMO規制第18弾
海外最新情報

お問い合わせ

リム情報開発株式会社

CROSS VIEW チーム

03-3552-2411

info@rim-intelligence.co.jp

―目次―

(ページ番号)

1 重油・アスファルト最新動向

1

- ①内燃研価格・体系(メニュー)価格予想 1
- ②2019年1～3月体系(メニュー)価格 サルファー(S)別価格表(仕切基準) 2
- ③重油海陸格差(A重油・LSA重油) 3
- ④ストレートアスファルト、アスファルト合材事情 5
- ⑤中国地方のアスファルト合材製造数量(11月度) 11
- ⑥中国地方のアスファルト受入基地・合材工場 12
- ⑦パキスタン、発電用重油の使用でトラブル続く 13

>

2 主要インデックスの推移

15

- ①低硫黄(LS)重油 VS ドバイ原油(2018年10～12月) 15
- ②京浜海上A重油 vs ドバイ原油(2018年10～12月) 15
- ③高硫黄(HS)重油 vs ドバイ原油(2018年10～12月) 16
- ④京浜バンカー vs ドバイ原油(2018年10～12月) 16

>

3 アジア各国の国別・地域別輸出入量

17

- ①日本の国別・地域別石油アスファルト輸入量、輸入単価 18年11月 17
- ②日本の国別・地域別石油アスファルト輸出量 18年11月 17
- ③重油：国別・地域別日本積み輸出量 18年11月 18
- ④重油：国別・地域別韓国積み輸出量 18年11月 18
- ⑤日本の国別・地域別重油輸入量、輸入単価 18年11月 19

>

4 日本の動向

21

- ①全国トッパー実稼働率(2017年1月以降) 21
- ②製油所稼働の見通し(2019年2～4月) 22
- ③元売り別A重油系列向け仕切り一覧(直近3カ月) 24
- ④官公庁などの調査船向けのA重油入札結果 過去データまとめ 29
- ⑤産業用A重油価格(大型ローリー納入) 32
- ⑥都道府県販売実績 33

>

5 2020年IMO硫黄規制への対応策と問題点

36

>

6 原油CIF価格-JCC-予想

61

>

7 業界百聞

65

1 重油・アスファルト最新動向

～日本～

①内燃研価格・体系(メニュー)価格予想

品名	単位	19年1月21日時点		19年1月24日時点	
		実績	予想	実績	予想
1707-400	kg	96,000	93,000	96,000	96,000
1708-400	kg	96,000	96,000	96,000	92,000
1709-400	kg	97,000	93,000	93,000	96,100
1804-400	kg	97,000	95,700	93,000	96,700
1807-400	kg	79,000	81,000	96,000	82,000
1808-400	kg	79,000	83,000	96,700	85,000
1809-400	kg	86,000	86,100	87,000	86,200
1804-400	kg	-	93,000	96,000	95,000

注)19年1月21日時点、単位：円/kg

※1 JXTGエネが24日公表した仕切り基準

※2 1月24日時点のTOCOM原油当限価格ベース。2月は2限月を採用。25日以降は24日の価格を月末まで適用。

※3 データ不足により算出不可

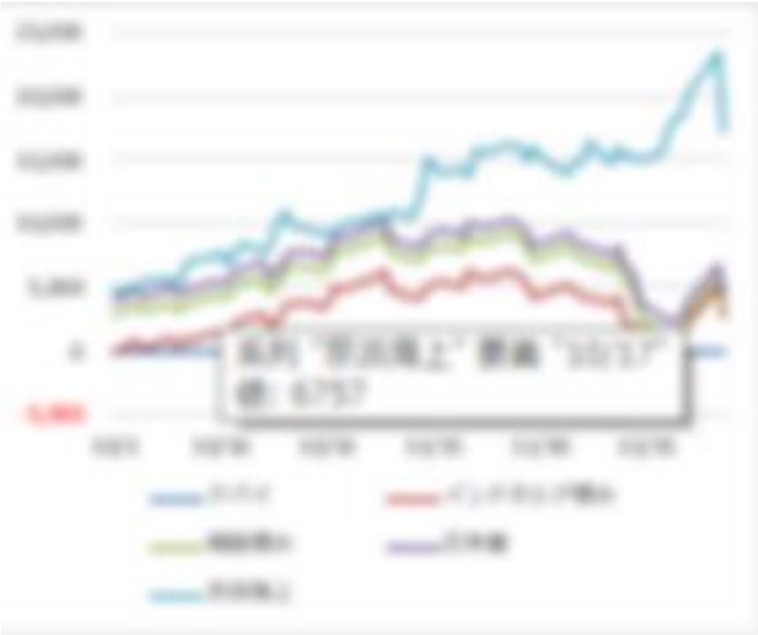
リム情報開発が行った1月24日時点のドバイ価格、JCC価格の予想(61ページ参照)を基に算出した、19年1～3月の内燃研価格予想はHSA重油がキロリットルあたり前期比9,800円安の66,800円、HSC重油が…

続きはこちら >

2 主要インデックスの推移

①低硫黄(LS)重油 VS ドバイ原油(2018年10~12月)

単位：円/KL



12月中旬以降、原油価格は下落したものの、アジア市場では重油供給にタイト感が生じ、日本着価格…

[続きはこちら >](#)

すべてリム価格

出所:リム調べ

②京浜海上A重油 vs ドバイ原油(2018年10~12月)

京浜海上A重油は12月に入りクラックスプレッドが拡大し、2万円を超えた。11月末時点までの…

単位：円/KL



[続きはこちら >](#)

すべてリム価格

出所:リム調べ

3 アジア各国の国別・地域別輸出入量

①日本の国別・地域別石油アスファルト輸入量、輸入単価 18年11月

国別・地域別	18年11月			18年10月	17年11月	18年1～11月	17年1～11月
	数量(mt)	円/mt	ドル/mt	数量(mt)	数量(mt)	数量(mt)	数量(mt)
中国	43,149	55,342	490	38,335	54,908	422,290	461,147
韓国	126	158,868	1,406	53	94	979	1,110
マレーシア	20	82,190	727	20	0	40	20
中国	0	0	0	0	0	4,028	0
タイ	0	0	0	0	2	0	21
(その他)	0	0	0	0	2	0	21
合計	43,275	55,608	492	38,408	55,005	429,294	462,298

(出所：財務省貿易統計)

②日本の国別・地域別石油アスファルト輸出量 18年11月

単位：mt

国別・地域別	2018年11月	2018年10月	2017年11月	2018年1～11月	2017年1～11月
中国	14,879	11,909	2	65,727	62,947
タイ	20	20	26	126	282
インドネシア	5	5	4	50	62
インド	2	0	2	42	24
韓国	0	0	20	9,021	15,010
トルコ	0	0	10	63	70
中国	0	0	0	4,000	0
ブラジル	0	0	0	0	0
フィリピン	0	0	0	0	0
モザンビーク	0	0	0	2	0
合計	14,879	11,909	75	81,279	78,433

(出所：財務省貿易統計)

4 日本の動向

①全国トッパー実稼働率(2017年1月以降)

—— 実稼働率 直近4週平均



出所:石油連盟

石油連盟がまとめた1月19日時点のトッパー実稼働率は、全国ベースで93.6%となり、前週の93.9%を0.3ポイント下回った。実稼働率とは、設計能力から事故や定期修理等の稼働停止分を除いたもの。…

[続きはこちら >](#)

5 2020年IMO硫黄規制への対応策と問題点

a)原油データからみるIMO硫黄規制

2020年1月1日より、国際海事機関(IMO)の決定で、一般海域でも燃料油に含まれる硫黄分は、上限が0.5%に制限される。このため、スクラバーを搭載していない大半の船舶は、0.5%以下の適合油を使用する…

[続きはこちら >](#)

HSC重油の供給を減らすためには、設備投資による二次装置の増強のほかに、硫黄分の少ない軽質原油を優先して精製する方法が考えられる。しかし、軽質原油を使用した場合でも、…

[続きはこちら >](#)

<世界の石油の主な移動>



単位：万バレル/日

出所：経済産業省資源エネルギー庁データ

注意：上記の数字には石油製品の移動も含む。

6 原油CIF価格-JCC-予想

	JCC 価格	WTI (FAL/PLA)	WCOIP (FAL/PLA)	為替 (FAL/PL)	WCOIP (PL/PLCIP FAL)
2019年1月	実績	66.52	64.59	112.45	45,685
2019年2月	実績	62.91	66.28	109.23	46,345
2019年3月	実績	62.85	66.80	106.56	44,764
2019年4月	実績	66.16	66.25	106.24	44,267
2019年5月	実績	74.35	70.78	109.10	48,541
2019年6月	実績	73.46	76.42	109.82	52,783
2019年7月	実績	73.14	76.69	110.75	53,418
2019年8月	実績	72.37	76.97	111.33	53,890
2019年9月	実績	77.81	76.85	111.13	53,351
2019年10月	実績	79.42	79.20	112.90	56,234
2019年11月	二重価格	66.87	61.76	112.89	56,115
2019年12月	予想	57.50	71.23	113.12	50,680
2020年1月	予想	60.73	61.84	109.47	42,580
2020年2月	予想	61.98	62.45	109.54	43,230
2020年3月	予想	61.76	63.90	110.26	44,260
2020年4月	予想	61.51	63.81	110.10	44,190
2020年5月	予想	61.25	63.44	109.77	43,800
2020年6月	予想	61.00	63.19	109.53	43,530

*注1 ドバイ原油は、リム情報開発が確定する値を採用。

*注2 JCC予想値は、1月21日時点の値。

*注3 2019年2～6月の為替は、三菱UFJ銀行による1月21日時点の先渡為替価格(TTSレート)を採用。

原油CIF価格-JCC-予想解説

1月に日本へ輸入、通関される原油の1月21日時点の見通しは61.84ドル/バレル、円建ては42,580円/klといずれも1月9日から横ばいとなった。一方、2月物のドル建ては62.45ドルと9日から…

[続きはこちら >](#)

7 業界百聞

シンガポール12月のバンカー重油販売量、前年比0.3%増

シンガポール港湾庁(MPA)はこのほど、12月のシンガポール港での船舶用燃料油の販売量が前年同月比0.3%(1万1,200トン)増の430万7,800トン(速報値)と発表した。前月比では40万1,700トン…

[続きはこちら >](#)

【ご利用にあたって】

リムCROSS VIEW重油レポートはリム情報開発株式会社の著作物となっており、無断での転載、転送は著作権法により堅く禁じられております。購読契約者である組織以外だけでなく、契約者の組織内の他部署、支社、支店などへの転送も出来ません。本レポートの全部もしくは一部を使用する場合は当社にご相談ください。

リム情報開発株式会社は、購読者が本レポートの情報をを用いて行う一切の行為に関して責任を負いません。また、天災、事変その他非常事態が発生、あるいは発生するおそれがあり、レポート発行が困難となった場合、一時的に中断することがあります。

リム情報開発オリジナルキャラクター



リム情報開発株式会社
〒104-0032
東京都中央区八丁堀1-9-8
八重洲通ハタビル3階
Tel: 03-3552-2411
Fax: 03-3552-2415
Eメール: info@rim-intelligence.co.jp



かめりん (Kame-Rim)



うさりん (Usa-Rim)